

計画の推進に向けて

① 総論

市民や職員との対話を軸に策定を進めてきた「鎌倉ミライ共創プラン2030」では、「まちづくりの基本方針」として、「個々の力・地域の力を発揮する共創社会の実現」を位置付けたことから、計画の推進を担う様々な主体が、それぞれの持てる力を発揮しながら、計画を推進します。

② 組織

鎌倉のまちが次代、そして、未来へと着実につながっていくよう、リーディングプロジェクト、横断的施策等を強力に推進する組織を構築するとともに、人財育成にも注力します。

③ 進行管理

基本計画の進行管理は行政評価制度に基づき行いますが、今回の計画策定にあわせて評価制度も見直します。特に今回の計画では、ロジックモデル²²による各施策の組み立てを行ったことを踏まえ、評価に当たり、目標と取組がロジカルに紐づいているかを確認するとともに、EBPM²³による取組と効果の関係を確認する等、客観的な視点で確認・評価できる手法の構築を目指します。

22.ある施策がその目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を明示したもの。

23.政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠に基づくものとする。



市の木／ヤマザクラ

(オオシマザクラを含むバラ科)

春になると新葉とともに白い五弁の花を開き、昔から和歌などに多く詠まれ、日本人に愛されてきました。かつては鎌倉の山にもたくさんあり、薪・炭材として使われていました。今も山のあちこちに残っていて春になるとみごとな花が楽しめます。



市の花／リンドウ

(リンドウ科)

秋になるとひっそりと紫の花をつけます。やや乾いた山地や草地に生る多年草で、葉はササに似て対生します。リンドウの葉と花を図案化した「ササリンドウ」が鎌倉市の市章になっています。



(昭和50年(1975年)10月25日制定)



令和8年4月発行

発行：鎌倉市

編集：鎌倉市 政策部 企画課

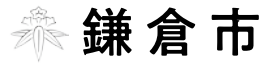
〒248-8686

神奈川県鎌倉市御成町18番10号

TEL：0467-23-3000(代表)

URL：https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/

© Kamakura City. All Rights Reserved.



鎌倉市

令和8年(2026年)4月